

車椅子、義肢、歩行支援用品、トイレ用椅子などの支援技術は必須保健製品で、医薬品その他の医療用品と並び、紛争や災害の結果として負傷および/または避難した人びとへ包括的保健医療を保障するために用意される必要がある。

紛争と自然災害の両方で生じる多数の負傷者は、移動とセルフケア支援製品を最優先に必要とする。紛争や災害から逃れた支援技術ユーザーは支えていた製品を置いてくる場合が多く、健康、避難や将来の移動に代替機器を必要とする。支援技術に関する詳細情報は、[WHO ファクトシート](#) に載せている。

支援技術へのニーズがある人びとを緊急時に支援するため、WHOはモデルとなる優先的支援製品リスト2種を作成した。これらは適合作させて、現地の人びと、状況、利用可能なサービス提供者のニーズを最大限に満たすようにすべきである。

▮ **AT6:** WHO救急外傷手術キットと共に保健施設に配備する6種の移動およびセルフケア製品。

▮ **AT10:** 国内避難民および難民支援のための10種の移動およびセルフケア製品。数量は避難民または難民10,000人を基準に推計。

AT6: 救急外傷対応優先的支援製品		外科ケアを必要とする50人当たりの数量
1	クラッチ	50
2	松葉杖	5
3	歩行杖	25
4	歩行器	4
5	車椅子、車椅子クッションを備えた一時的使用向け	8
6	トイレ・シャワー用椅子（車輪、洗える便器、フットプレート付き）	2

AT10: 国内避難民・難民支援用優先的支援製品		人口10,000人当たりの数量
1	クラッチ	100
2	松葉杖	
3	歩行杖	625
4	歩行器	80
5	除圧クッション	35
6	車椅子、手動介助形	60
7	車椅子、手動アクティブ形	35
8	カテーテルキット（1キットにつき3か月分。間欠的、留置または体外式カテーテルを用いた排泄管理に必要な製品を含む）	35
9	トイレ・シャワー用椅子（固定式）	70
10	吸収性製品、使い捨て（3か月分）	100

**コミュニケーション支援技術も、緊急時には広く必要とされることが確認されている。
アルファベットと図形を用いたコミュニケーションボードを、現地で翻訳・印刷するよう推奨する。**

AT6およびAT10製品は、緊急状況に合わせて調整されたサービス提供枠組みの中で供与される必要がある。これは人びとが最も適正な製品を受け取り、安全かつ効果的に使用でき、可能であれば、さらにケアや将来のフォローアップへ紹介・相談がなされるようにするためである。

WHOは、緊急事態の中で支援技術供与に当たるチームを支援するため、印刷版とオンラインの情報と教習教材を作成した。

#	現地で印刷する支援技術および教習/サービス提供支援資料
A	人びとが自分のニーズについて話すためのコミュニケーションボード（アルファベットと図形）
B	必須支援製品6種の迅速な選択・適合・使い方教習ハンドブック
C	歩行支援用品 および 車椅子 ユーザー用情報リーフレット
D	支援製品教習 (TAP) サービス提供者向けオンライン教習